



2023年2月13日

各位

会社名 株式会社 キャリアインデックス
代表者名 代表取締役社長 CEO 板倉 広高
(コード番号：6538 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 CFO 齋藤 武人
(TEL 03-5795-1320)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年8月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年3月期業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	3,800	1,050	1,046	612	29.57
今回修正予想(B)	3,320	530	524	306	14.82
増減額(B-A)	△480	△520	△522	△305	
増減率(%)	△12.6	△49.5	△49.9	△49.9	
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	3,058	1,002	1,001	585	28.33

【修正の理由】

売上高につきましては、マーケティング事業において、HR領域では、人材業界全体は堅調であるものの、Webマーケティング費用の単価が大幅に上昇したことにより、当社のマ

マーケティング効率が悪化し、売上高拡大を図ることができませんでした。不動産領域では、一部顧客によるマーケティング費用調整の影響や新規クライアントの獲得が遅れたことにより、当初予定していたクライアント予算を獲得できず、売上高を伸ばすことができませんでした。

DX 事業においては、売上高は順調に拡大しておりますが、売上高においてマーケティング事業が全体に占める割合が大きいことから、DX 事業の増加分でマーケティング事業の減少分を補うことはできませんでした。

利益面につきましては、マーケティング事業において、HR 領域では、マーケティング費用の単価が大幅に上昇したことにより、売上高に占めるマーケティング費用の割合が増加し、利益を 238 百万円減少させる要因となりました。不動産領域では、クライアント予算の獲得が進まず、売上高が抑えられたことにより、利益面でも伸ばすことができず、利益を 229 百万円減少させる要因となりました。

DX 事業においては、契約マネジメントシステム「ContractS CLM」は順調に伸び、営業支援ツール「Leadle」も底堅い状況ではありますが、当社子会社である株式会社マージナルが提供する Web 面接ツール「BioGraph」の販売が伸びず、同社に関するのれん全額を第 3 四半期において償却することとなりました。これにより 52 百万円利益を押し下げる要因となりました。

その結果、2023 年 3 月期業績について、当初予想を売上高で 480 百万円、営業利益で 520 百万円下回る見込みとなりました。

なお、マーケティング事業においては、販売単価の改善、新規クライアントの獲得、サイト改善、マーケティング強化等により業績回復を図っており、これらの効果も見え始めております。2022 年 11 月には、フレキシブルオフィスのマッチングプラットフォーム「JUST FIT OFFICE」の運営を開始し、新たな収益源の獲得も進んでおります。

DX 事業においては、「Leadle」において新機能をリリースし、「ContractS CLM」においてもアライアンスがスタートしております。

今後も、現在の事業拡大とともに新たな収益源の獲得を積極的に進め、企業価値向上を図ってまいります。

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表当時において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。